

第 73 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2012 年 8 月 3 日(金)13 時 30 分～17 時 00 分
2. 場 所:日本機械学会 第3・4会議室
3. 出席者:飯田(東電)、西野(配管技術研究協会)、西田(三菱重工)、堀(パナソニック日立)、島田(東芝)、
堤田(日立)、北村(関電)
代理者:位田[谷川(川崎重工)]
欠席者:小高(富士電機システムズ)、齋藤(IHI)
オブザーバ:長谷川(中電)
事務局:海野(記)

4. 配布資料

- 73-1 . 第 72 回構造分科会議事録(案)
- 73-2 . 構造分科会委員名簿
- 73-3 . 第 60 回火力専門委員会議事録(案)
- 73-4 . 第 61 回規格委員会議事録(案)
- 73-5 . 発電用火力設備規格の活用要請の保安院への提出について
- 73-6 . ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱い(案)
- 73-7 . 発電用設備規格委員会ホームページ ファイル共有機能の運用について(案)
- 73-8 . 次回改訂時の検討事項一覧(構造分科会関連)
- 73-9-1 . 構造分科会審議フロー(案)
- 73-9-1-1 . 審議履歴表(案)
- 73-9-2 . 標準用語リストの運用について
- 73-9-3 . 発電用火力設備規格 規格原稿作成要領(案)

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 73-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 73-2]

新任候補として長谷川氏の推薦があり、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、一柳委員の退任及び再任委員が該当者無しであることが報告された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 73-3]

第 60 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 構造分科会委員の承認
- ・ 第 72 回構造分科会報告

- ・ 発電用火力設備規格在庫及び2012年版出版手続きの事務局対応について
- ・ JESC用補足説明資料案の報告について
- ・ 次回改訂作業の方針について審議し ASME は 2011Addenda, 火技解釈は改正動向を注視し, 改正された場合には取り込む方針とした

(3-2) 規格委員会報告

[資料 73-4]

第 61 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-3) JESC本委員会審査結果報告

[資料 73-5]

5 月 31 日に開催された日本電気技術規格委員会(JESC本委員会)審査の結果, JESCより省令への技術要素及びその技術的要件を満たす規格であるとの回答があった旨, 報告された。あわせてJESCより原子力・安全保安院電力安全課長宛に活用要請の文書が発行されたことも報告された。(資料はJESC発行文書の写し)

(3-4) SI 換算ルール調整状況報告

[資料 73-6]

ASME からの SI 値換算ルールについて原子力専門委員会関係者との調整を進めており, その状況報告がなされた。

(3-5) ファイル共有システム運用ルール案について

[資料 73-7]

10 月を目途に仮導入を予定している発電用設備規格委員会ホームページのファイル共有システムについて仮導入に向けた, 運用ルール案が報告された。本件について意見がある場合は, 事務局まで連絡することとなった。仮導入後に一定期間各委員会にて利用されてから運用ルールを正式に内規化することとなっていること, また火力専門委員会内での統一ルールが必要となる場合に, ルール策定に協力をお願いしたい旨, 事務局より依頼された。

(4) 審議事項

(4-1) 次回改訂時検討項目の整理

[資料 73-8]

前回(2012 年版)の書面投票意見対応において, 次回改訂時に検討するとの回答をしたものについて整理し, 方針を審議した。各自持ち帰り, 質問・意見等のコメントがあれば, 主査にメール連絡することとした。

(4-2) 次回改訂時の作業ルールについて

[資料 73-9]

次回改訂時の作業ルール等について以下の事項を確認した。

- ・ 標準審議フロー(案)
 - ・ 構造分科会のチェック者は1人とするため, チェック者欄の(1&2)は削除。

- ・ 審議履歴表(案)
 - ・ チェック者は3役が担当する。Ⅲ章を幹事, Ⅳ章を主査, Ⅴ章を副主査とし, Ⅲ章とⅣ章のそれぞれの担当分はチェック者を入れ替える。
 - ・ ASME2008Addenda 以降に追加された項目について, 発電用火力設備規格への取り込み要否と, その確認を行う分担について審議した。取り込みを検討する項目は以下の通り。
 - ・Section I Appendix IV :担当 東電
 - ・Section I Appendix A-360, A-381～383 :担当 中電
 - ・Section I Appendix B :担当 関電
 - ・Section VIII-1 Appendices 31, 32 :担当 東電
 - ・Section VIII-1 Appendices 33～41 :取り入れ不要
 - ・Section VIII-1 Appendices 42 :溶接分科会と相談して検討
 - ・Section VIII-1 Appendices HH :担当 日立
 - ・Section VIII-1 Appendices JJ :取り入れ不要
 - ・Section VIII-1 Appendices KK :各自確認後, 再検討(取り入れ不要と思われる)
 - ・Section VIII-1 Appendices LL :担当 本文関連箇所の担当者
 - ・Section VIII-1 Appendices MM :取り入れ不要
 - ・ 次回構造分科会で, 次回改訂までの全体スケジュール案を提示することとした。また, 次回分科会までに, 審議フローに基づき各委員1アイテムのレビュー票を審議用として作成することとした。
- ・ 標準用語リストの審議
 - ・ 構造分科会分として新しく追加された用語リストが承認された。今後, 他の分科会でも確認してもらい, また他の分科会で追加されたものを確認して随時更新を行い, 改訂作業に活用することとした。
- ・ 規格原稿作成要領の審議
 - ・ 各委員作成の 2012 年版の規格原稿が, 規格原稿作成要領に沿っていない部分があり, 校正作業に労力を要したことから, 原稿作成要領について再確認を行った。また, 規格原稿作成要領について, 各章毎の現状の原稿に即した様式例を追加した修正案が承認された。
 - ・ 規格原稿以外に事務局にてパブコメ募集用見え消し版原稿を作成しているが, 各委員によって修正履歴の表示方法が統一されていないことから, 簡単な統一ルールを事務局にて作成し, 提示することとなった。

6. 次回開催予定

日 時:2012 年 11 月 16 日(金)13 時 30 分～17 時 00 分

場 所:日本機械学会 第3・4会議室

以 上